

資料編



1. 歴代教育委員

(1) 教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
小菅 朴二	1958. 2. 1	1958. 3. 28
平本 精則	1958. 2. 1	1970. 3. 28
若林 順成	1958. 2. 1	1958. 3. 28
渡辺 一雄	1958. 2. 1	1966. 3. 28
井上 桂一	1958. 2. 1	1965. 3. 28
久保田 佐一	1958. 3. 29	1959. 3. 28
若林 健	1958. 3. 29	1964. 3. 28
田中 邦茂	1959. 3. 29	1971. 3. 28
鈴木 英正	1964. 3. 29	1972. 3. 28
関田 歳明	1965. 3. 29	1969. 3. 28
花形 英一	1966. 3. 29	1970. 3. 28
杉山 一人	1969. 6. 25	1973. 3. 28
木目田 至	1970. 10. 19	1982. 10. 18
前田 忠行	1970. 10. 19	1981. 3. 31
田中 邦茂	1972. 4. 1	1980. 3. 31
宮丸 郁子	1972. 4. 1	1976. 3. 31
渋谷 茂	1973. 3. 29	1981. 3. 28
坂本 孝子	1976. 4. 1	1984. 3. 31
井上 聰	1980. 4. 1	1988. 3. 31
齋藤 謹也	1981. 7. 15	1982. 10. 18
南保 正道	1981. 10. 1	1985. 9. 11
井上 直之	1982. 10. 27	1990. 10. 26
齋藤 謹也	1982. 10. 27	1998. 10. 26
五日市 恭子	1984. 4. 1	1992. 3. 31
寺田 和雄	1986. 4. 1	1989. 4. 3
川尻 泰子	1988. 4. 1	1996. 3. 31
齋藤 秀夫	1989. 4. 4	1993. 3. 31
井上 恭一	1990. 10. 27	2002. 10. 26
西村 絢子	1992. 4. 1	2000. 3. 31
米田 彰	1993. 4. 1	1998. 3. 31
小田桐 玲子	1996. 4. 1	2000. 3. 31
山田 雄三	1998. 4. 1	2010. 3. 31
江森 陽弘	1998. 10. 27	2002. 10. 26
富川 快雄	2000. 4. 1	2012. 3. 31
古舘 和江	2000. 7. 1	2002. 3. 31
名取 紀美江	2002. 4. 1	2008. 6. 30
井関 孝善	2002. 10. 28	2014. 10. 27
岡田 英子	2002. 10. 28	2014. 10. 27
高橋 圭子	2008. 7. 1	2016. 6. 30
渋谷 友克	2010. 4. 1	2014. 3. 31
佐藤 昇	2012. 4. 1	現在に至る
坂本 修一	2014. 4. 1	現在に至る
森山 賢一	2014. 10. 28	現在に至る
八並 清子	2014. 10. 28	現在に至る
坂上 圭子	2016. 7. 1	現在に至る

(2) 教育委員長

氏名	就任年月日	退任年月日
平本 精則	1958. 2. 1	1970. 3. 28
田中 邦茂	1970. 10. 28	1971. 3. 28
木目田 至	1971. 7. 12	1972. 7. 11
田中 邦茂	1972. 7. 12	1978. 3. 28
木目田 至	1978. 4. 1	1982. 10. 18
井上 聰	1982. 10. 28	1985. 3. 31
齋藤 謹也	1985. 4. 1	1987. 10. 26
井上 直之	1987. 10. 27	1990. 10. 26
齋藤 謹也	1990. 10. 27	1994. 10. 26
川尻 泰子	1994. 11. 10	1995. 11. 9
井上 恭一	1995. 11. 13	1998. 10. 26
西村 絢子	1998. 11. 6	1999. 11. 5
井上 恭一	1999. 11. 6	2001. 11. 5
富川 快雄	2001. 11. 6	2011. 11. 5
岡田 英子	2011. 11. 6	2013. 3. 31
佐藤 昇	2013. 4. 1	現在に至る

(3) 教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
井上 桂一	1958. 2. 1	1965. 3. 28
関田 歳明	1965. 3. 29	1969. 3. 28
杉山 一人	1969. 6. 25	1973. 3. 28
渋谷 茂	1973. 3. 29	1981. 3. 28
南保 正道	1981. 10. 1	1985. 9. 11
寺田 和雄	1986. 4. 1	1989. 4. 3
齋藤 秀夫	1989. 4. 4	1993. 3. 31
米田 彰	1993. 4. 1	1998. 3. 31
山田 雄三	1998. 4. 1	2010. 3. 31
渋谷 友克	2010. 4. 1	2014. 3. 31
坂本 修一	2014. 4. 1	現在に至る

2. 附属機関委員

※委員構成は、すべて2017年6月1日現在

町田市教育委員会いじめ問題対策委員会委員

氏名	区分	氏名	区分
岡田 行雄	教育	原田 泰孝	法律
杉村 共英	医療	茂木 冴子	福祉

町田市生涯学習審議会委員

氏名	区分	氏名	区分
永井 晋	社会教育委員	吉田 和夫	社会教育委員
吉田 知弘	〃	岩本 陽児	生涯学習又は社会教育に関する関係機関の代表
関根 美咲	〃	山口 洋	〃
瓜生 ふみ子	〃	古矢 鉄矢	〃
池野 系	〃	井藤 親子	〃
通地 康弘	〃	布沢 保孝	公募による市民
菌田 碩哉	〃	米倉 茂	〃

町田市社会教育委員

氏名	区分	氏名	区分
永井 晋	学校教育関係者	池野 系	社会教育関係者
吉田 知弘	〃	通地 康弘	家庭教育の向上に資する活動を行う者
関根 美咲	社会教育関係者	菌田 碩哉	学識経験者
瓜生 ふみ子	〃	吉田 和夫	〃

町田市立図書館協議会委員

氏名	区分	氏名	区分
吉川 篤	学校教育関係者	齋藤 美智子	社会教育関係者
坂西 圭子	〃	鈴木 真佐世	〃
砂川 とき江	家庭教育の向上に資する活動を行う者	一川 喜久子	〃
久保 礼子	社会教育関係者	山口 洋	学識経験者
清水 陽子	〃	瀧 桂子	〃

町田市民文学館運営協議会委員

氏名	区分	氏名	区分
深沢 眞二	学識経験者	多田 洋一	学識経験者
渡邊 正彦	〃	宮本 隆介	〃
翔田 寛	〃	吉田 孔一	学校教育関係者
保井 美樹	〃	武藤 充	市民

町田市文化財保護審議会委員

氏名	区分	氏名	区分
阿諏訪 青美	中世史	小島 政孝	郷土史
阿部 朝衛	考古学	鶴巻 孝雄	日本近代史
内野 秀重	自然誌	浜田 弘明	博物館学・人文地理学
大野 敏	建築史	八木橋 伸浩	民俗学



3. 小・中学校配置図

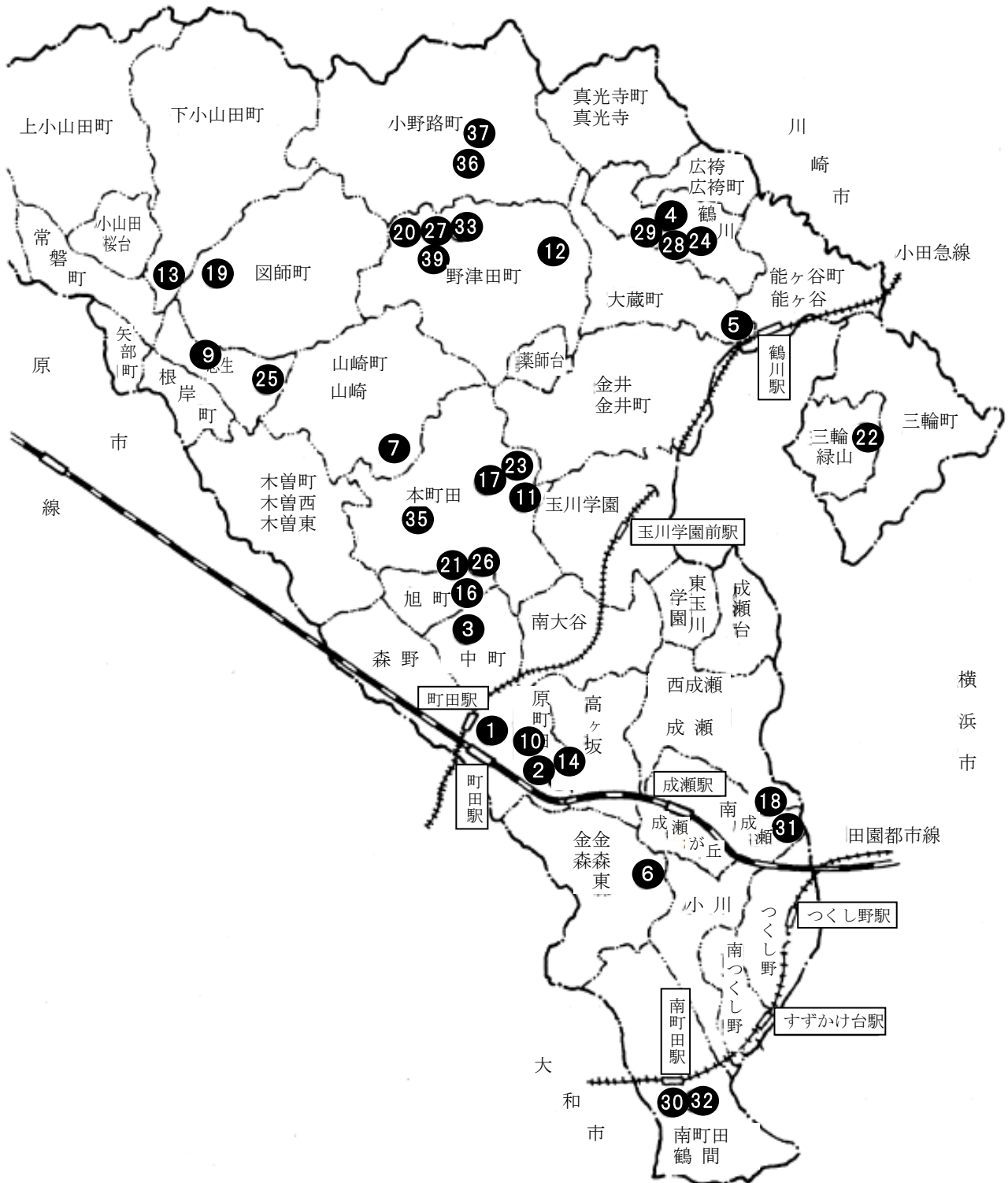


記号	小学校	記号	小学校
1	町田第一小学校	22	南つくし野小学校
2	町田第二小学校	23	鶴川第一小学校
3	町田第三小学校	24	鶴川第二小学校
4	町田第四小学校	25	鶴川第三小学校
5	町田第五小学校	26	鶴川第四小学校
6	町田第六小学校	27	金井小学校
7	南大谷小学校	28	大蔵小学校
8	藤の台小学校	29	三輪小学校
9	本町田東小学校	30	忠生小学校
10	本町田小学校	31	小山田小学校
11	南第一小学校	32	忠生第三小学校
12	南第二小学校	33	山崎小学校
13	南第三小学校	34	小山田南小学校
14	南第四小学校	35	木曾境川小学校
15	つくし野小学校	36	七国山小学校
16	小川小学校	37	函師小学校
17	成瀬台小学校	38	小山小学校
18	鶴間小学校	39	小山ヶ丘小学校
19	高ヶ坂小学校	40	小山中央小学校
20	成瀬中央小学校	41	相原小学校
21	南成瀬小学校	42	大戸小学校

記号	中学校
1	町田第一中学校
2	町田第二中学校
3	町田第三中学校
4	南大谷中学校
5	南中学校
6	つくし野中学校
7	成瀬台中学校
8	南成瀬中学校
9	鶴川中学校
10	鶴川第二中学校
11	薬師中学校
12	真光寺中学校
13	金井中学校
14	忠生中学校
15	山崎中学校
16	木曾中学校
17	小山田中学校
18	小山中学校
19	堺中学校
20	武蔵岡中学校

※2012年4月1日 大戸小学校と武蔵岡中学校が「小中一貫ゆくのき学園」として開校

多摩市



5. 年表

明治

年	月	項目
1871 (明治 4)	2	小野郷学開校 (華嚴院、万松寺、大泉寺、南仙堂を輪番隔月)
1872 (明治 5)	8	学制発布
1873 (明治 6)	3	小野郷学解体
	4~5	市域に19の小学舎開校 小野学舎 (小野路)、智新学舎 (野津田)、有隣学舎 (上小山田)、又新学舎 (下小山田)、向明学舎 (函師)、励精学舎 (真光寺)、育英学舎 (大蔵)、研精学舎 (三輪)、新民学舎 (小山)、誠教学舎 (小山)、開曠学舎 (鶴間)、成高学舎 (成瀬)、共研学舎 (金井)、昭明学舎 (本町田)、真敬学舎 (南大谷)、日新学舎 (原町田)、誠意学舎 (木曾)、孝養学舎 (山崎)、相原学舎 (相原)
1874 (明治 7)		この年、大戸学舎開校
1875 (明治 8)	6	県の指令により小学舎を学校と改称。村立の学校は村名に改定 (小野学舎が小野路学校、智新学舎が野津田学校、又新学舎が小山田学校、共研学舎が金井学校、昭明学舎が本町田学校、真敬学舎が大谷学校に改称)
1876 (明治 9)	7	小山田学校校舎新築
	8	誠教学舎が誠敬学校と改称、中村に校舎新築
1877 (明治 10)	4	大戸学校が奈良谷に移築
	7	有隣学校校舎新築
	10	金井学校校舎新築
		この年、研精学校が岡上学校と合併
1878 (明治 11)	3	成高学校が東雲寺火災により観性寺に移転
	5	橋本政直らが学習結社「責善社」を設立
	12	向明学校校舎新築
1879 (明治 12)	10	野津田学校校舎新築
1880 (明治 13)	2	研精学校から能ヶ谷学校が独立
	7	私立学校養英館が相原村に開業
		この年、細野喜代四郎・井上光治らが学習結社「琢磨会」を結成
		この年、成高学校は高ヶ坂学校が分立し、成瀬学校と改称
		この年、本町田学校が陶化学校と改称
1881 (明治 14)	1	石阪昌孝らが中心となり「武相懇親会」を開催
	11	石阪昌孝らが政治結社「融貫社」を設立
1882 (明治 15)	4	誠敬学校が小山学校と改称
	5	相原学校が中村に校舎新築 (通称八丹学校)
	7	政治結社「融貫社」が学習結社「融貫社講学会」に組織変更
1883 (明治 16)	2	野津田村に文武道場「凌霜館」が設立
		この年、研精学校校舎新築
		この年、日新学校校舎が浄運寺前に新築
1887 (明治 20)	10	開曠学校校舎が現南一小の地に新築
1889 (明治 22)	4	市制、町村制の施行により市域は5村 (町田村、南村、鶴川村、忠生村、堺村)
1890 (明治 23)	3	野津田を中心に「玉南青年会」が設立
	10	このころ、町田村に青年学習結社「大成会」が設立
1891 (明治 24)	1	小山田、高ヶ坂の青年会が結成
	2	町田村の青年学習結社「大成会」が「辛卯会」に改称
1892 (明治 25)	3	「成瀬青年会」結成
	4	鶴川村井上村長が学校の一新を図るため校名を変更。一部を統合のうえ、第一鶴川尋常小学校から第五鶴川尋常小学校の5校とする
		相原学校、新民学校等が補習科を設置
		大戸学校が大戸尋常小学校と改称
	11	青年学習結社辛卯会が町田 (青年) 倶楽部に改称
1893 (明治 26)	4	南、北、西多摩三郡を東京府へ移す
1895 (明治 28)	2	鶴川高等小学校開校
	8	向明小学校に高等小学校併置
		鶴川村教育会設立
1899 (明治 32)		この年、「小川青年会」結成
1900 (明治 33)	12	高ヶ坂尋常小学校設立
1901 (明治 34)	4	相原尋常小学校に高等科併設
	5	小山尋常小学校に高等科併設
		この年、南部4ヶ村教育会設立
1902 (明治 35)	3	鶴川実業補習学校が発足
1903 (明治 36)	3	日新・陶化・大谷小学校が統合されて町田尋常高等小学校となる
	5	新民学校と小山尋常高等小学校が合併
1904 (明治 37)	4	小山尋常高等小学校校舎新築
1908 (明治 41)	4	鶴川村で第一・第二・第三・第四・第五鶴川尋常小学校と鶴川高等小学校が統廃合され、鶴川尋常高等小学校となり、小野路、三輪に分教場を設置
		大戸尋常小学校と相原尋常高等小学校が合併し、大戸分教場を設置
	5	開曠学校が南村尋常高等小学校と改称

1909 (明治 42)	6	現相原小の地に相原尋常小学校の新校舎完成
--------------	---	----------------------

大正

年	月	項目
1912 (大正元)	9	忠生村で向明・小山田・有隣・誠意学校が統廃合され、忠生尋常高等小学校となり、小山田分教場を設置
1913 (大正 2)	9	南第一農業補習夜学校、南第二農業補習夜学校が発足
1914 (大正 3)	10	町田農業補習学校が発足 この年、函師青年会、本町田青年会が発足
1916 (大正 5)	5	堺村青年団が創立
1917 (大正 6)	1	忠生尋常小学校に忠生実業補習学校併設
1920 (大正 9)	12	南第一農業補習夜学校が南第一実業補習学校、南第二農業補習夜学校が南第二実業補習学校と改称
1922 (大正 11)	1	忠生村小山田の同人結社「紅潮社」が同人誌『紅潮』を創刊
1923 (大正 12)	3	相原尋常小学校に高等科2年、相原実業補習学校を併設
	9	関東大震災で相原尋常小学校校舎が大破
1924 (大正 13)	1	忠生実業補習学校が農業公民学校となる
1925 (大正 14)	10	高ヶ坂石器時代遺跡の発掘開始
1926 (大正 15)	2	高ヶ坂石器時代遺跡が国史跡に指定
	2~5	相原、南村、鶴川等各小学校併設の実業補習学校が農業公民学校と改称
	6~7	各小学校に青年訓練所を併設

昭和

年	月	項目
1927 (昭和 2)		この年、町田尋常高等小学校に青年訓練所を兼ねた町田農公民学校が併設
1929 (昭和 4)	4	玉川学園開校 私立町田女学校開校 原町田幼稚園 (市域最初の幼稚園) 創設
1930 (昭和 5)	5	町田高等女学校が町田女学校に併設
1932 (昭和 7)	3	町田女学校廃止
1935 (昭和 10)	10	青年学校令公布により、市域の各農業公民学校、青年訓練所が青年学校となる
1939 (昭和 14)	9	浪江度が鶴川村大蔵に私立南多摩農村図書館を開設
1941 (昭和 16)	4	市域の小学校が国民学校と改称
1942 (昭和 17)	3	南村に翼賛青少年団が発会 この年、玉川学園内に興亜工業大学が開校
1943 (昭和 18)	1	南村で南多摩郡教育会第三支部教育報国挺身隊が結成 この年、南国民学校で学校給食開始
1944 (昭和 19)	8	市域の各村で品川区の鈴ヶ森、伊藤、立会国民学校の学童集団疎開を受け入れる この年、南村女子挺身隊結成
		この年、神戸照子が鶴川村大蔵の慶性寺に寒竹学苑を開設
1945 (昭和 20)	3	玉川工業専門学校開校
	5	焼夷弾を受け、学童集団疎開寮の妙延寺、万松寺焼失
	9	市域の各国民学校で始業式
	10	市域の集団疎开学童の大部分が帰京
1946 (昭和 21)	5	私立桜美林学園開校 南多摩青年文化連盟発会
	9	町田図書館設置委員会設立
1947 (昭和 22)	3	南多摩郡教育研究会 (町田市教育研究会の前身) 創立 私立町田高等女学校が町田町に移管 市域で6・3制による新制中学校が設置され、男女共学による開校式 (町田第一中、南中、鶴川中、忠生中、堺中)
	8	神戸照子が鶴川村大蔵に寒竹文庫を開設
1948 (昭和 23)	12	町田小 (現町田第一小) で学校給食 (みそ汁) 開始
	3	町田町立町田高等女学校が東京都に移管
	4	都立町田高等学校設立
	6	南中、町田小にP T A結成
	11	市域の教育事務は南多摩教育出張所の所管に
1949 (昭和 24)	5	町田第一中にP T A結成
1950 (昭和 25)	5	町田町長、社会教育委員会共催で憲法記念講演会
	6	町議会の議決により町田町公民館を正式に設置
	7	堺中にP T A結成
	10	町田少年補導協会結成

	11	第2回都教育委員選挙(町田町での投票率60%)
1951(昭和26)	10	南村が社会教育委員会を設置
	10	町田町社会教育委員制度発足
1952(昭和27)	11	郷土芸能「三ツ目ばやし」文部省芸術祭郷土芸能コンクールに出演
	4	町田第二小、町田第三小開校
	5	忠生第二小が独立開校(現小山田小)
	11	市域各町村に公選制教育委員会発足
1953(昭和28)	8	町田町公民館条例施行
1954(昭和29)	3	原町田に児童館完成
	3	町田町役場内に図書室開設
	4	町田町と南村が合併
1955(昭和30)	10	『鶴川風土記』刊行
	4	町田第四小開校
	6	町田郷土研究会が「井手の沢古戦場の碑」を本町田菅原神社境内に建立
		町田第四小で完全給食開始
1956(昭和31)	2	鶴川村婦人会発足
	9	町田町立図書館創設
1957(昭和32)	10	市域の各町村で新教育委員会(任命制)発足
	4	町田第二中開校
1958(昭和33)	10	八木重吉詩碑完成
	2	市制施行(町田町、鶴川村、忠生村、堺村の1町3か村が合併)
		町田市教育委員会設置
	3	町田市連合青年団発足
	4	南第三小開校
		町田市婦人連絡協議会結成
	10	市青少年問題協議会条例制定
		市社会教育委員設置
		市章制定
1959(昭和34)	11	第1回小学校音楽会(市教委、小教研共催)
		町田市小学校PTA(市P協)発足
	4	小学校科学教育センター設置
		町田第二小に「知恵遅れ学級」開設
1960(昭和35)	8	市営プール開設
	1	ボーイスカウト町田第1団結成
	4	小学校3年生用社会科副読本『わたしたちの町田』創刊
	6	町田第一小玉川分校(現町田第五小)開校
	7	市体育指導委員設置
		市青少年委員設置
1961(昭和36)	12	町田市文化財保護条例制定
	3	町田市文化財専門委員会発足
	4	町田第一中に障がい学級設置
		私立鶴川高等学校開校
1962(昭和37)	6	市青少年対策地区委員会設置
	2	交通安全都市宣言
	4	忠生第三小が独立開校
		中学校科学教育センター設置
		堺中小山分教場廃止
1963(昭和38)	5	緑のおばさん通学路に立つ
	3	鶴川地区給食共同調理所開設
	4	町田第五小開校
		教育相談室開設
		都立町田工業高等学校開校
	5	町田市歌、町田音頭できる
1964(昭和39)	11	『忠生村誌』刊行
	4	鶴川第二小開校
		都立町田青年の家開所
	8	鶴川団地造成に伴う遺跡発掘調査開始(翌年4月まで)
1965(昭和40)		忠生中に学校プール第1号が完成
	1	児童詩集『町田の子』創刊
	4	町田第六小開校
		市立体育館落成
	8	南地区学校プールが南中に完成
1966(昭和41)	11	第1回市民歩こう会
	5	青少年健全育成都市宣言
		鶴川第一小新校舎落成、移転
	8	堺地区学校プールが堺中に完成
		鶴川地区学校プールが鶴川第二小に完成
		愛の鐘第1号が市役所屋上に設置
	11	高ヶ坂石器時代遺跡復元

1967 (昭和 42)	3	第 1 回町田市社会教育大会開催
	4	南第三小金森分校 (現南第四小) 開校
	7	町田地区学校プールが町田第一中に完成 本町田団地造成に伴う遺跡発掘調査開始 (翌年 4 月まで)
	9	鶴川第三小開校
1968 (昭和 43)	11	鶴川中新校舎落成、移転
	3	相原小大戸分校閉校
	4	南第四小、忠生第四小、忠生第五小、町田第三中開校 市教委配属指導主事が 2 人制 教育委員会事務局に青少年課設置
	5	市民憲章制定 玉川学園地区が都下 2 番目の文教地区に指定
1969 (昭和 44)	11	小野路町に私立小島資料館開館
	4	忠生第六小開校
	5	田端環状積石遺構保存工事完成
1970 (昭和 45)	7	学童保育クラブが市内 2 か所に開設
	1	市役所新庁舎オープン
	4	緑ヶ丘小、本町田東小開校
1971 (昭和 46)	10	移動図書館車「そよかぜ号」運行開始
	12	町田市学校保健会設立
	4	南第一小つくし野分校、鶴川第四小、薬師中開校 障がい者のためのスクールバスがスタート 教育委員会事務局に施設課設置 教育委員会事務局にスポーツ課設置 都立忠生高等学校開校 本町田遺跡公園開園
	7	町田第三小ほか 5 校にプール完成 (全小・中学校に配置)
1972 (昭和 47)	9	移動図書館車「そよかぜ 2 号」スタート
	11	第 1 回町田市学校保健大会開催
	2	市立図書館鶴川分館オープン
	4	つくし野小が独立開校 日向山公園テニスコート、中央公園バレーボールコート開設
	5	市立図書館本館新築完成 D51 型蒸気機関車が市立図書館本館わき (現すみれ会館横) に展示公開
	6	町田市学校給食協議会発足
	10	市子ども会育成会事務連絡協議会発足 移動図書館車「そよかぜ 3 号」スタート
1973 (昭和 48)	12	町田第二中防音校舎完成
	3	市少年相談員設置
	4	本町田西小、藤の台小、鶴川第二中開校 都立町田養護学校開校 都立町田青年の家が市へ移管、青少年施設「ひなた村」としてオープン
	5	相原小温室プール開き
	6	町田第二小に肢体不自由児の訪問学級開級 南第一小、南第二小、小山小開校百周年
	7	移動スポーツ車スタート 青少年施設「ひなた村」が活動開始
	9	みんなの祭り「23 万人の個展」
1974 (昭和 49)	11	郷土資料館 (現市立博物館) 開館
	2	第 1 回子どもマラソン大会開催
	3	旧荻野家住宅が薬師池公園に移築 『町田市史』 (上巻) 刊行
	4	南大谷小開校 町田第一小開校百周年
1975 (昭和 50)	6	市立図書館金森分館オープン
	11	相原小開校百周年
	2	堺中武道館完成
	3	旧永井家住宅を薬師池公園に移築
	4	小川小、成瀬台小、南大谷中、本町田中開校 教育委員会事務局が 2 部制に 都立野津田高等学校開校 都立町田養護学校が野津田町に移転
	6	教育相談室に言語相談部門開設 図書館で「声の図書」貸し出し開始
1976 (昭和 51)	9	つくし野中開校
	12	『堺村誌』刊行
	2	町田第四小に「ことばの教室」開級
	3	『町田市史』 (下巻) 刊行
4	忠生第七小開校	

		郷土資料館が「町田市立博物館」と改称 日本大学第三高等学校開校
	5	自然休暇村（長野県川上村）入村式
	7	市立図書館木曾山崎分館オープン
	10	小山小新校舎落成、移転
1977（昭和52）	3	鶴川中の給食が中止
	4	鶴間小、原小、木曾小開校
		町田第一中に肢体不自由学級の校舎完成
		教育相談室が教育相談所と改称
		都立町田養護学校に高等部設置
		町田市文化連盟発足
	7	自然休暇村のキャビン使用開始
	10	市立図書館鶴川分館が移転オープン （この年で、中学校の校舎鉄筋化率、体育館保有率、小・中学校のプール保有率100%）
1978（昭和53）	1	旧永井家住宅が国重要文化財に指定
	4	高ヶ坂小、金井小開校
		都立成瀬高等学校開校
		学校給食に米飯給食導入
		東京女学館短大が町田に移転
	8	大地沢青少年センターが通年施設としてオープン
	10	町田市民ホールが落成
	12	町田市公民館新装オープン
1979（昭和54）	3	鶴川共同調理所廃止
	4	成瀬中央小、成瀬台中、山崎中開校
		学校機械警備開始
	9	少年サッカー場オープン
1980（昭和55）	4	南成瀬小、南つくし野小、大蔵小、山崎小、真光寺中開校
		都立小川高等学校開校
	11	小山田小新校舎完成（木造校舎解消）
		第1回町田市障がい学級、養護学校連合マラソン大会開催
1981（昭和56）	7	薬師中水泳部が都大会で優勝
	8	F C町田が第5回全日本少年サッカー大会で優勝
	12	第1回公民館まつり
1982（昭和57）	4	三輪小、南成瀬中が開校
1983（昭和58）	2	忠生中事件起きる
	4	大戸小、木曾中、武蔵岡中開校
		都立山崎高等学校開校
	8	地域教育相談所開設
	9	市立図書館堺分館開館
1984（昭和59）	4	小山田南小、金井中、小山田中開校
		木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土
		法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校
	5	小山田1号遺跡が特殊樹脂加工を施して公園としてオープン
	11	町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生
1985（昭和60）	2	忠生中が『学校再建の歩み』刊行
	8	第1次町田市教育交流視察訪中団
	11	民権の森に「自由民権の碑」建立
	12	教育研究所が原小内にオープン
1986（昭和61）	3	関東地方最古の仏像（誕生釈迦仏立像）が東雲寺で発見
	8	第2次町田市教育交流視察訪中団
	10	塩川文相が忠生中視察
	11	町田市立自由民権資料館オープン
1987（昭和62）	4	町田市立国際版画美術館オープン
	6	市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足
1988（昭和63）	5	ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン
	8	町田市中学生中国訪問団
	12	『町田市教育史』（上巻）刊行

平成

年	月	項目
1989 (平成元)	7	自然休暇村本館オープン 教育広報『まちだの教育』創刊 教育委員会事務局が森野分庁舎へ移転
	8	忠生第五小で余裕教室を一般開放
	9	忠生少年野球場オープン 第1回町田薪能
1990 (平成2)	10	市立室内プールオープン
	1	自然休暇村に大型望遠鏡設置
	3	『町田市教育史』(下巻)刊行 室内プール入場者10万人
	4	国際版画美術館にハイビジョンギャラリー
	10	市立陸上競技場オープン 市立総合体育館オープン
1991 (平成3)	11	市立中央図書館オープン
	12	町田市市民大学構想検討委員会が答申
	6	大地沢青少年センター本館オープン
	7	国際版画美術館に110インチのハイビジョン
1992 (平成4)	8	室内プール利用者が100万人を突破
	11	町田市公民館が文部大臣表彰
	3	本町田遺跡、西谷戸横穴墓群が東京都指定史跡に 『町田市教育史』(資料編)刊行
	7	市立図書館全館がオンライン化
1993 (平成5)	8	ニュージーランドへ第1回中学生海外派遣団
	9	町田第一中体育館・温水プール落成
	11	子ども議会が開会(小学6年生)
	1	ニュージーランドの中学生来訪
	6	まちだ市民大学HATSが開校
1994 (平成6)	7	ひなた村新装オープン
	9	忠生中体育館・プール落成
	2	町田第四小内にまちだ市民大学の活動拠点が完成
	7	「町田市余裕教室活用計画案策定委員会」報告書まとまる
1995 (平成7)	10	青少年課発足
	11	市立小・中学校の余裕教室の活用による高齢者福祉施設設置事業において、町田市がパイロット自治体に指定 鶴間小が「学校給食優良学校文部大臣表彰」を受賞
	1	大地沢青少年センターにて町田市のジュニアリーダーと韓国の青少年が国際交流
	4	学校週5日制を月2回実施(毎月第4土曜日)
	3	鶴川第二小が東京都学校給食優良学校として表彰される
1996 (平成8)	3	町田市子どもセンター建設計画検討委員会が答申
	5	青少年健全育成都市宣言30周年記念事業スタート 子ども憲章実行委員会が子どもたちの手による「子ども憲章」を発表
1997 (平成9)	11	自由民権資料館新装オープン
	10	鶴川第二小が「学校給食優良学校文部大臣表彰」を受賞
1998 (平成10)	4	つくし野小の余裕教室を活用した高齢者福祉施設「つくし野デイサービスセンター」が開所
	12	町田市立学校適正規模適正配置等審議会が答申 相模原市と図書館の相互利用開始
1999 (平成11)	3	南中体育館・温水プール落成
	4	鶴川第四小の余裕教室を活用した高齢者福祉施設「デイサービス鶴川」が開所
	5	「町田市子どもセンター“ばあん”」がオープン
2000 (平成12)	1	「南大谷子どもクラブ」がオープン
	4	教育部が学校教育部に、文化部が生涯学習部に名称変更 市教委配属指導主事が4人制
2001 (平成13)	7	金森図書館が移転新築オープン
	3	『わたしとわたしたち一人権と民権を考えるー』刊行
	4	忠生第四小と木曽小を統合、「木曽境川小学校」が開校 サン町田旭体育館オープン
2002 (平成14)	10	子ども議会が開会(中学生)
	1	新しい成人式「二十祭まちだ」を開催 鶴川中新校舎、体育館、温水プール落成
	4	鶴川中が新校舎に移転 木曽境川小が本校舎に移転
		本町田西小、緑ヶ丘小、原小を統合、「本町田小学校」が開校 教育研究所が旧忠生第四小に移転
		学校週5日制が完全実施 小・中学校全校に「学校運営協議会」設置

2003 (平成 15)	<p>市民大学H A T S が森野分庁舎に移転 子どもセンター“ばあん”来館者20万人</p> <p>5 学生教育ボランティア制度開始</p> <p>10 まちだ中央公民館（町田センタービル6階～8階）オープン 町田第一小体育館、プール、増築校舎完成</p> <p>3 「町田市立小・中学校選択制度検討委員会」報告書答申</p> <p>4 本町田小が本校舎に移転 教育センターに小学校適応指導教室を開設 忠生第五小・忠生第六小・忠生第七小を統合、「七国山小学校」が開校 小・中学校全校に「主幹」職の教員配置される 青少年課・学務課一部業務（私立幼稚園等保護者補助金等）を子ども生活部（子ども総務課・児童青少年課）へ組織移管替え 指導課事務見直しに伴い4係（事務・指導・教職員・就学相談）が3係（管理・教職員・就学相談）制に 学校施設管理センター、忠生第五小学校跡地に設置</p>
2004 (平成 16)	<p>7 小山ヶ丘小学校建設に着手</p> <p>3 「町田市立中学校給食実施計画」履行を答申</p> <p>4 七国山小が本校舎に移転（学校適正規模適正配置事業に伴う小学校3校統合終了） 「町田市立小・中学校選択制度」開始 指導課教育センター係発足（旧教育研究所と旧教育相談所組織を改組） 教育センターに指導主事（市費負担）を新たに1人配属</p>
2005 (平成 17)	<p>6 町田市教育センター改装オープン</p> <p>7 町田市立文学館着工</p> <p>4 「小山ヶ丘小学校」が開校 小・中学校全校で「教頭」から「副校長」に名称変更 小学1年生の「生活指導補助者」91名を31校に派遣 成瀬台小に「通級指導情緒障がい学級」を開設 小・中学校「授業力」向上プログラム～9年目までの全教職員対象 『発掘された町田の遺跡』全面改訂（前回1977年発行以来） 教育総務課の3係（総務・経理・企画調整）を新たに3係（総務・事務・学校環境整備）に再編 上の原グラウンドオープン 相原中央グラウンドオープン</p>
2006 (平成 18)	<p>9 中学校給食を弁当併用外注方式により4校（忠生中・小山田中・堺中・武蔵岡中）で開始 中学校2年生職場体験授業を実施</p> <p>1 小・中学校に学校サポーター導入</p> <p>3 小・中学校と教育センターを結ぶ学校ネットワークを整備 インターネットでオーストラリアの小学生と国際交流</p> <p>4 体育施設及び自然休暇村の管理、運営を指定管理者へ移行 田端環状積石遺構を保存・復元 小野路球場・グラウンドオープン 木曾山崎グラウンドオープン 相原中央テニスコートオープン</p>
2007 (平成 19)	<p>5 中学校給食4校で追加実施（南中・つくし野中・成瀬台中・南成瀬中）</p> <p>10 町田市民文学館ことばらんどオープン</p> <p>4 組織改正により、施設課の一部業務を営繕課へ移管 特別支援教育開始 学校支援ボランティア開始</p> <p>5 中学校給食4校で追加実施（鶴川中・真光寺中・薬師中・鶴川第二中）</p> <p>6 eラーニング実施</p> <p>8 野津田球場オープン</p>
2008 (平成 20)	<p>10 八王子市と図書館の相互利用開始</p> <p>12 図師小学校建設に着手 『武相自由民権史料集』（全6巻）刊行</p> <p>3 堺中学校体育館・プール改築・増築校舎完成</p> <p>4 組織改正により、スポーツ課・博物館・国際版画美術館を文化スポーツ振興部へ、ひなた村・大地沢青少年センターを子ども生活部へ移管 組織改正により、社会教育課を生涯学習課に名称変更し、一部業務を文化振興課に移管 学校環境整備係（教育総務課）を学校施設管理センター（施設課）へ所管替え 都立町田養護学校の学校名称が「都立町田の丘学園」に変更 小中一貫教育「町田っ子カリキュラム」が開始 京王沿線七市の図書館の相互利用開始</p>
2009 (平成 21)	<p>5 中学校給食3校で追加実施（町田第一中・町田第三中・南大谷中）</p> <p>6 中学校給食1校で追加実施（町田第二中） さるびあ図書館を基点に学校図書館支援貸出事業スタート</p> <p>8 「町田市の教育に関する市民意識調査」実施</p> <p>10 「町田市学校支援実行委員会」設立</p> <p>11 小山中央小学校建設に着手</p> <p>2 町田市教育プランを策定</p>

2010 (平成 22)	町田市民文学館来館者 10 万人	
	3 『町田市立小・中学校校歌集』発行	
	4 保健給食課を新設し、学務課の一部業務を移管 「図師小学校」が開校	
	5 中学校給食 4 校で追加実施 (本町田中・金井中・山崎中・木曾中) し、全中学校で給食を実施	
	6 モデル校に学校支援地域理事を設置。その学校を「スクールボード校」としてスタート	
	3 第 1 回中学生「東京駅伝」大会において男女とも優勝	
	4 「小山中央小学校」が開校	
	9 忠生センター、小山市民センター、南町田駅前連絡所で図書館資料の予約資料受渡サービスを開始	
	10 小山中学校建設に着手	
	11 「フェスタぶらりライブラリー in まちだ」開催 (中央図書館)	
	2011 (平成 23)	3 本町田中学校閉校
8 中学校普通教室のエアコン設置		
9 忠生第一小学校が忠生小学校に名称変更		
2012 (平成 24)	11 「2011 年度町田市子ども教育委員会」を開催	
	4 大戸小学校と武蔵岡中学校が「小中一貫ゆくのき学園」として開校 「小山中学校」が開校	
	生涯学習センターオープン	
	川崎市と図書館の相互利用開始	
2013 (平成 25)	6 学校施設管理センターが本町田中学校跡地へ移転	
	7 市役所移転	
	10 鶴川駅前の複合型文化施設「町田市文化施設和光大学ポプリホール鶴川」内に、鶴川駅前図書館がオープン	
	3 第 4 回中学生「東京駅伝」大会において男女総合優勝	
	4 組織改正により、教育センターが指導課から独立し課相当となる	
	6 教育センターに中学校適応指導教室を開設 教育センターに「まちだ JUKU」を開設	
	図書館事業計画策定	
	7 町田市文化財総合活用プランを策定	
	2 町田市教育プラン (改定版) を策定	
	3 町田市生涯学習推進計画を策定	
2014 (平成 26)	4 小中一貫教育「町田っ子カリキュラム」が「規範教育」、「キャリア教育」、「食育」の 3 領域になる	
	教育総務課の 2 係 (総務・事務) を新たに 2 係 (総務・学校運営支援) に再編	
	成瀬中央小学校に「言語障がい学級」を開設	
	9 小・中学校給食費を改定	
	町田市いじめ防止基本方針策定	
	10 鶴川第一小学校校舎改築工事着工式を実施	
	2015 (平成 27)	3 図書館情報システムリニューアル
		4 教育総務課の車両担当が、財務部管財課車両管理係に統合
		町田市教育委員会いじめ問題対策委員会及び町田市いじめ問題調査委員会条例を制定
		小学校給食の調理業務委託を開始 (初年度は、町田第三小・町田第六小・南第四小・鶴川第四小・小山田小・木曾境川小の 6 校)
町田市文化財保護条例を改正し、登録文化財制度を導入		
5 忠生市民センター内に、忠生図書館がオープン		
町田市学力向上推進プラン、家庭学習の手引き作成		
町田市学力向上推進フォーラムを開催		
町田市特別支援教育推進計画策定		
学校施設管理センターが忠生第六小跡地へ移転		
2016 (平成 28)	8 町田市民文学館来館者 50 万人	
	1 西谷戸横穴墓群出土圭頭大刀、野津田神社幟 (石阪昌孝揮毫)、善寧児先生碑 (通称 ジェンナー碑) を町田市登録有形文化財として登録	
	子どもセンターばお分館で図書館資料の予約資料受渡サービスを開始	
	4 学校施設管理センターを廃止し、施設課に学校用務担当課長を配置	
	学校用務業務委託を開始 (初年度は、町田第五小・本町田東小・南第三小・鶴間小・小山小・南大谷中・鶴川第二中・小山田中の 8 校)	
	小学校給食の調理業務委託の拡大 (新たに、町田第二小・南成瀬小・南つくし野小・鶴川第二小・忠生小・小山田南小の 6 校) に導入。委託校は計 12 校)	
	忠生小に「自閉症・情緒障がい学級」を開設	
	南成瀬中に「情緒障がい等学級」を開設	
	小学校情緒障がい等学級の巡回指導開始 (初年度は町田第四小を拠点校とした 8 校) に導入)	
	7 成瀬コミュニティセンターで図書館資料の予約資料受渡サービスを開始	

6. 町田市子ども憲章

みんな自分に素直に生き、
そしてお互いを認め合うそんな社会へ…

それは、みんながそれぞれの生き方を追うことができるということ。
そして、他の誰とも違うかけがえのないわたしが、
まわりのすべてのものとともに、生きるということ。

人間尊重社会の実現

すべての人には平等な権利がある。でも、自分勝手に行動するだけはいけない。

——相手の立場になって気持ちを理解し、お互いを認め合える社会をつくっていきます。

自主性の確立

「自分から」。それがいちばん大切なこと。人にやってもらえばかりではだめなんだ。
いつも楽しくなるよう

——自分の道は自分で切り開いていきます。

個性の尊重

人はみんな一人ひとり違う。みんなと違っててもこわくない。当たり前のことなんだ。
だから、

——それぞれが持っている自分らしさを大切にします。

命の大切さ

いのちがあるのは人間だけではない。動物にも植物にもいのちがある。だから、
——みんなで助け合って生きていきます。

学ぶ心の大切さ

経験から学ぶことは、自分の可能性を広げる。むだなことなんてない。だから、
——ものごとに前向きに取り組んでいきます。

友情の大切さ

世界中のどんな人でも、友だちはかけがえのないもの。いつも気持ちがわかり合える、
そんな仲間。だから、

——仲間を大切に続けます。

夢を追う気持ち

現実にとらわれなくともいい。わずかな可能性でも、
——自分の夢をもち続けます。

7. 問い合わせ先



学校教育部

教育総務課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2172
施設課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2174
学務課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2176
保健給食課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2177
指導課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2154
教育センター	木曾東 3-1-3	042-793-2481

生涯学習部

生涯学習総務課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2181
生涯学習センター	原町田 6-8-1	042-728-0071
図書館 (中央図書館)	原町田 3-2-9	042-728-8220
町田市民文学館	原町田 4-16-17	042-739-3420

